

令和7年度 技能奉仕活動を実施しました



老朽化が進んだ南部公園の藤棚（修繕前の状態）

令和7年7月23日(水)・24日(木)、松本市ものづくり人材育成連絡会の主催により、長野県松本技術専門校の訓練生たちによる令和7年度「技能奉仕活動」が行われました。

実施場所は南部公園（松本市平田東1丁目936番3）の木製藤棚がある区画です。この公園は、近くを走る電車を一望できる砂場や遊具があり、多くの親子連れで賑わう人気のスポットとなっています。

藤棚の老朽化や腐食が進んでいたため、利用者の安全確保と景観維持を目的に、松本技術専門校の訓練生たちが修繕作業を実施しました。



チームワークを活かし、古い棚材を撤去する訓練生たち



指導員から技術的なポイントを学ぶ訓練生

松本市ものづくり人材育成連絡会は、平成24年10月に松本市を主会場として開催された「技能五輪全国大会」を契機に発足した、学校、経済団体、行政などが連携する組織です。

この連絡会は、構成団体が協力しながら、地域産業を支える若年層の育成、地元就職の促進、そして産業に必要な人材の確保に向けて、総合的な支援を行っています。

また、産学官が一体となって取り組む「技能奉仕活動」は、若手技能者の育成と地域貢献を両立させる重要な活動として、平成28年から継続的に実施されています。



市民の憩いの場として生まれ変わった藤棚（修繕後）